

専門家の興味深い話を聞ける

# 文化講座

＼ 知っておくと役に立つ /

## 公認会計士の仕事

社会貢献の在り方を見詰める



日時

10月14日(日) 13:00

場所

神総本部<sup>しんこうのやかた</sup>信光会館2階  
(<sup>ひかりのやかた</sup>偉光会館に中継)

講師

公認会計士

<sup>すずき ひでふさ</sup>  
鈴木秀総

公認会計士という職業は、国家三大資格の一つといわれるくらい試験は難しいのに、その社会的認知度は必ずしも高くなく、聞いたことはあるけれど、その仕事の内容はよく分からない、また、税理士とはどう違うの？ といった疑問は非常によく耳にします。

その認知度の低さとは裏腹に、仕事の内容はとても幅広く、あるときは会社と対峙し、またあるときは会社の右腕として手腕を発揮します。

そんな公認会計士の仕事の内容や税理士との違い、もし今の世の中にいなかったらどうなるか等、東日本大震災の復興事業などにも携わった経験を交えて、その社会的役割についてお話しします。

### 講師略歴

宮城県大崎市出身。中央大学商学部会計学科卒業。

大手監査法人において、監査業務や株式上場支援業務、財務デューデリジェンス業務、東日本大震災復興支援業務等に従事した後、2016年に大崎市に「おおさき総合法律会計事務所」を開設。独立後は、税理士としても活動し、最近では、事業承継スキームの提案や相続税対策の受注が多い。弁護士である父と共に事務所を営み、現在に至る。

入場無料！

信者籍のない方も気軽にご参加ください